

2008年度 第2四半期決算説明会



2008年11月18日(火)
日本テレビ放送網株式会社

本説明会及び資料の内容には、将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績はさまざまな状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。



損益計算書.....	P	5
放送収入	P	6
事業収入	P	7
番組制作費.....	P	8
2008 年度業績予想	P	9
番組制作費の抜本改革.....	P	17
編成・コンテンツ関連資料	P	22

第2四半期決算概況 および 2008年度業績見通し

代表取締役
会長執行役員

細川 知正



損益計算書

(単位: 百万円)

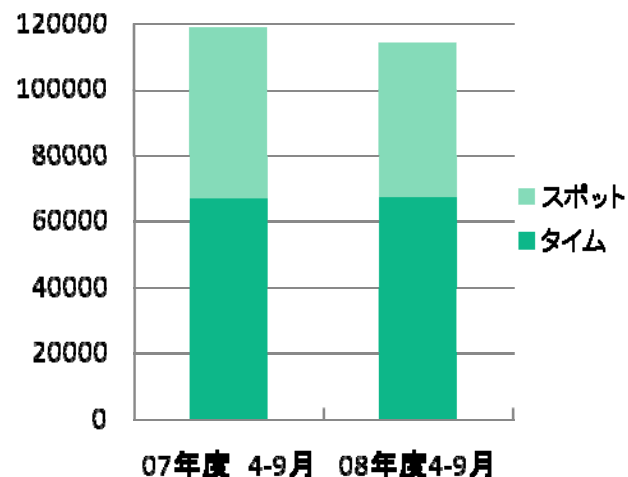
連結	2007年度 4－9月期	2008年度 4－9月期	伸率(%)
売上高	165,505	164,986	△0.3
営業利益	10,458	1,286	△87.7
経常利益	12,665	3,292	△74.0
当期純利益	4,333	△1,220	△128.2

(単位: 百万円)

単体	2007年度 4－9月期	2008年度 4－9月期	伸率(%)
売上高	140,466	139,970	△0.3
営業利益	6,537	△597	△109.1
経常利益	8,074	1,362	△83.1
当期純利益	2,050	△1,905	△192.9

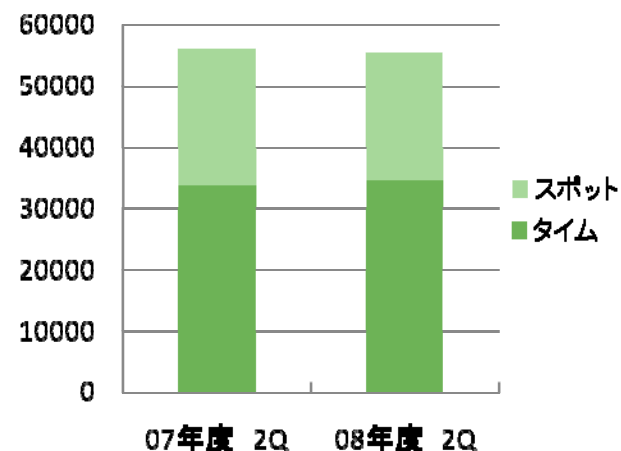
放送収入(単体)

(単位: 百万円)



	2007年度 4-9月期	2008年度 4-9月期	比較	伸率(%)
放送収入合計	118,295	113,837	△4,457	△3.8
タイム	66,216	66,745	528	0.8
スポット	52,078	47,092	△4,985	△9.6

(単位: 百万円)



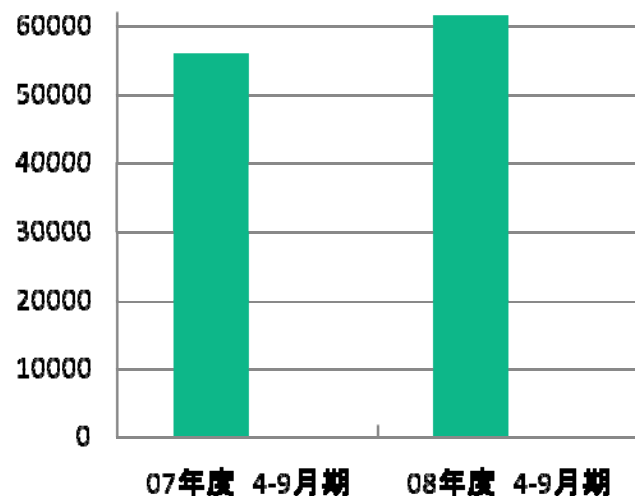
	2007年度 第2四半期	2008年度 第2四半期	比較	伸率(%)
放送収入合計	56,853	55,157	△1,696	△3.0
タイム	33,590	34,289	699	2.1
スポット	22,263	20,867	△2,395	△10.3

事業収入(単体)

(単位:百万円)

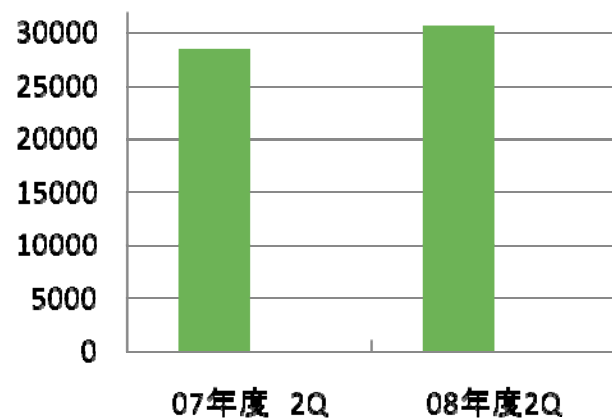
事業種別		2008年度 4-9月期	伸率(%)	2008年度 第2四半期	伸率(%)
イベント	イベント	3,956	31.4	2,693	16.7
TV	BS・CS・CATV他	2,595	14.3	1,297	14.8
コンテンツ	ライツ	898	△4.3	417	△9.2
	海外番販	682	△22.0	340	△16.7
	通販	3,498	△14.4	2,099	△5.5
	出版	407	11.8	223	35.2
	映画	6,685	99.7	4,714	242.6
	その他	161	△50.9	64	△4.5
合計		18,882	24.1	11,847	45.6

55 番組制作費(単体・管理ベース)



(単位: 百万円)

	2007年度 4-9月期	2008年度 4-9月期	比較	伸率(%)
番組制作費	56,658	61,173	4,515	8.0



(単位: 百万円)

	2007年度 第2四半期	2008年度 第2四半期	比較	伸率(%)
番組制作費	28,350	30,532	2,181	7.7

2008年度業績予想

(単位: 百万円)

通期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
連 結	330,000	9,000	12,500	3,800
(前 回 予 想)	338,400	13,400	16,600	8,500
単 体	280,000	4,100	7,200	1,300
(前 回 予 想)	286,900	7,700	10,500	5,500

(単位: 円)

前提	下期	通期
タ イ ム	△6.3%	△2.9%
(前 回 予 想)	△3.2%	△1.5%
ス ポ ッ ト	△9.6%	△9.6%
(前 回 予 想)	△3.6%	△6.2%
制 作 費	△6.2%	0.8%
(前 回 予 想)	△2.5%	2.1%

配当	中間	期末	年間
2008年度	90	90	180
(参考)2007 年度実績	75	105	180

*「前回予想」は、第1四半期発表時に開示したものになります

セグメント別予想

(単位: 百万円)

通期	テレビ放送 事業	文化事業	その他の 事業	消去 又は全社	連結
売上高	249,100	74,500	18,000	△11,600	330,000
営業利益	18,200	3,300	2,200	△14,700	9,000

設備投資額と減価償却費

(単位: 億円)

2008年度4-9月 期実績	設備投資額	減価償却費
連結	26	56
単体	15	50

(単位: 億円)

2008年度通期予想	設備投資額	減価償却費
連結	62 (82)	114 (116)
単体	48 (74)	103 (105)

* 今回、今年度分の見直しをしました。()内の数値は、前回開示の数値です

[決算関連補足資料]



セグメント別売上高および営業利益

(単位:百万円)

		テレビ放送事業	文化事業	その他の事業	合計	消去 又は全社	連結
主な連結子会社		・日テレグループHD ・NiTRO ・AX-ON ・日テレアート	・日テレイベント ・日本テレビ音楽 ・ハップ ・日テレ7	・日本テレビサービス ・日本テレビワーク24 ・日本テレビ フットボールクラブ ・フオアキャスト ・コミュニケーションズ			
売上高	2008年度 4-9月期	123,784	37,818	8,936	170,539	△5,553	164,986
	2007年度 4-9月期	128,414	34,229	7,843	170,487	△4,981	165,505
	伸率(%)	△3.6	10.5	13.9	0.03	—	△0.3
営業利益	2008年度 4-9月期	5,423	2,319	775	8,518	△7,232	1,286
	2007年度 4-9月期	12,596	3,337	1,257	17,191	△6,732	10,458
	伸率(%)	△56.9	△30.5	△38.3	△50.5	—	△87.7

55 業種別スポット売上順位(4-9月期)

	2008年度4-9月期	シェア	伸率(%)	2007年度4-9月期	シェア	伸率(%)
1	化粧品・トイレタリー	8.9	△ 8.3	化粧品・トイレタリー	9.5	△ 2.4
2	電気機器	8.6	7.1	非アルコール飲料	8.3	13.3
3	運輸・通信	7.9	5.4	電気機器	8.1	10.9
4	非アルコール飲料	7.6	△ 10.7	輸送機器	7.9	△ 4.7
5	アルコール飲料	7.2	△ 11.4	アルコール飲料	7.5	△ 4.4
6	輸送機器	7.0	△ 10.0	金融・保険業	7.2	△ 18.3
7	薬品	7.0	△ 1.3	運輸・通信	6.6	△ 12.9
8	サービス	4.9	△ 8.5	薬品	5.6	△ 12.3
9	映画・演劇興行	4.9	7.4	映画・演劇興行	4.2	14.4
10	金融・保険業	4.8	△ 10.5	サービス	3.9	39.3
	その他	31.2	△ 19.1	その他	31.2	11.3
	合計	100		合計	100.0	△ 7.1

55 業種別スポット売上順位(7-9月期)

	2008年度第2四半期	シェア	伸率(%)	2007年度第2四半期	シェア	伸率(%)
1	電気機器	9.2	25.1	化粧品・トイレタリー	9.3	△ 3.1
2	運輸・通信	9.0	19.5	輸送機器	8.5	△ 5.5
3	化粧品・トイレタリー	7.4	△ 16.1	非アルコール飲料	7.3	13.1
4	輸送機器	6.9	△ 19.4	アルコール飲料	7.1	△ 3.1
5	非アルコール飲料	6.4	△ 10.2	電気機器	7.0	7.0
6	薬品	6.2	△ 9.0	運輸・通信	6.8	△ 13.1
7	アルコール飲料	5.8	△ 19.7	金融・保険業	5.7	△ 30.4
8	映画・演劇興行	5.8	26.3	映画・演劇興行	5.0	49.6
9	金融・保険業	5.0	△ 17.4	薬品	4.9	1.6
10	サービス	4.8	△ 20.6	サービス	4.5	26.5
	その他	33.6	△ 19.0	その他	33.9	△ 8.3
	合計	100		合計	100.0	△ 5.4

今後の戦略と取り組み

代表取締役
社長執行役員

久保 伸太郎



番組制作費の抜本改革

2009年度の番組制作費は1000億円以
内

『選択と集中』の推進

→収入に繋がるゾーン・コンテンツに経営資源
(ヒト・カネ・インフラ)を集中投下

LLP、製作委員会などによる、新たな制作費財源の確保

番組・素材のマルチユースの推進、スピンオフや特別版の制作

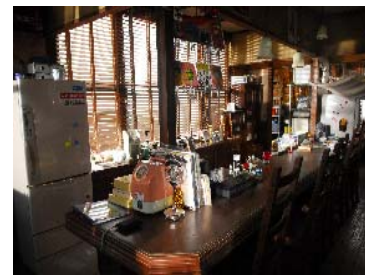
日テレ⁵⁵「the波乗りレストラン」の成功

「the波乗りレストラン」とは・・・

サザンオールスターズのデビュー30周年、日テレ開局55周年に合わせて企画されたもので、2008年11月1日から9日間連続で、「サザンオールスターズ」の名曲33曲をテーマに、約10分のミニドラマを33本地上波放送。第33話の最終回のみ60分。

テレビ局で初めて、ドラマ本編を地上波放送翌日に有料配信。
ただし、第1話など5話については、放送後無料配信。
また、携帯端末でしか見られない34話目の「オリジナルスピンオフドラマ」は期間限定で有料配信。

主演・大泉洋ほか、福山雅治、深津絵里、西村雅彦、岸谷五朗らが共演



55 新スキームでマルチ展開

出資母体：有限責任事業組合D. N. ドリームパートナーズ(DNDP)
アミューズソフトエンタテインメント、VAP



編成

「ズムサタ」、「スッキリ！」等地上波番組との連動
第33話が日曜深夜に13.1%の高視聴率を記録



営業

トヨタ、花王、麒麟ビール、
ナショナルクライアントが高い評価をし、提供スポンサーに



コンテンツ事業

「本編まるごと」、「スピンオフ」を携帯/PC向けに動画配信。
NTTドコモ『Music&Videoチャンネル』で夜間ダウンロードサービス。
携帯でサイトに登録すれば、放送開始の時間になるとアラームが鳴り、ワンセグを起動させる サービスを実施。来年早々にDVD発売

更なるコンテンツのマルチユース戦略

放送外収入拡大に向けた取り組み

VoD戦略

- ドコモi-ch、JR車内モニター等へニュース配信
- 第2日テレの活用
 - スポンサーの付いたドラマスピンオフ配信
 - スポンサーニーズをとらえたクロスメディアプロモーションによるオリジナルCM展開など
- ドラマの期間限定配信
- アニメ「アカギ」「BUZZER BEATER」 「桜蘭高校ホスト部」等をGyao、NTTレゾナント、フロントメディア等への配信

海外販売戦略

- 映画、アニメなどのコンテンツ販売
 - 2008年11月には、「それ行け！アンパンマン」を台湾にセールス
 - 60カ国を超える上映オファーを受けた映画「DEATH NOTE」
 - 積極的なフォーマット販売
 - 「¥マネーの虎」の英BBCをはじめ20カ国へのセールス実績
 - 「全日本仮装大賞」「歌スタ!!」をセールス。日テレグループから100超のフォーマット化企画

海外の優良なインターネット動画配信サイトに、コンテンツ提供

新たな収入獲得へのチャレンジ

55 テレビ アメリカでコンテンツ動画配信

民放初、日本のバラエティコンテンツをアメリカの動画配信サイトで配信サービスを開始予定

日本テレビ、吉本興業、電通の3社で、アメリカの動画配信サイトと、日本のコンテンツ配信サービスの契約を締結。第1弾は、Joost

配信予定コンテンツ

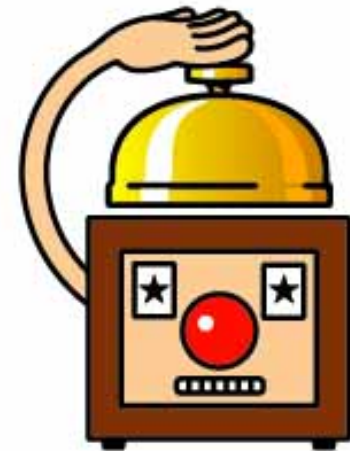
- バラエティ
 - 「進め！電波少年」より『なすびの懸賞生活』など
 - 「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで!!」より『24時間鬼ごっこ』『山崎VSモリマン』（NTV作品）
 - 「EP FILMS」「HITOSI MATUMOTO VISUALBUM」など（吉本興業作品）
- アニメ
 - 「逆境無頼カイジ」「BUZZER BEATER」



Joost (ジュースト)について

- Joost™は2006年1月に設立された、オンラインで動画とSNSの世界を融合させた、P2P配信技術を使ったプラットフォーム。現在、南米、欧州、中国等 北米以外も含めたグローバル展開を行っている。400のテレビ番組や1,200タイトルの映画など、約46,000にのぼるコンテンツを配信している。

[編成・コンテンツ関連 補足資料]



番組編成の現状分析

視聴率概況

- 2006年秋からのタイムテーブル構造改革を経て、順調に推移
- 1位フジテレビとの差は、全ゾーンで接近中
- 8月以降は、四冠王4回、三冠王1回、ノンプライムは15週中11週トップ

プライムタイム

- (金)～(日)は1位 『ぐるぐるナインティナイン』『太田総理』『世界一受けたい授業』『エンタの神様』『バンキシャ』『ザ!鉄腕!DASH』『行列のできる法律相談所』『おしゃれイズム』などレギュラーが好調
- 課題の月曜日も新番組にヒットの兆し → 月曜21時『深イイ話』がCX「月9」に勝利、『しゃべくり007』好調スタート

ノンプライム

- 『ズームイン!!SUPER』が引き続き好調で同時時間帯1位
- 午後のベルト番組(月～金)『おもいッきりイイ!!テレビ』『ミヤネ屋』に安定感
- 『スッキリ!』『NEWS ZERO』のコアターゲット・F1視聴率が上昇し、ブランド認知が高まり、広告主からも高い評価
- 日曜10月新番組『The サンデーNEXT』『誰だって波瀾爆笑』なども順調

下期の編成戦略と方針(1)

番組制作費の有効活用

- レギュラー番組の制作費見直し、単発番組の見直し、10月期のBCタイムの改編などにより、当初予定より大幅な制作費削減を実施
- 55周年大型企画の素材のリユースを検討中
ドラマ『東京大空襲』、カルチャー特番『エジプト』『女たちの中国』など

55周年企画・戦略週

- 11月より、サザン連作ドラマ、3夜連続大物MC(さんま・タモリ・たけし) バラエティ、行列カンボジアプロジェクト、ローマ帝国スペシャルなど、55周年大型企画を集中的に投入
→視聴率トップの獲得と同時に、日本テレビのプレゼンスを高める

ベルト番組などのブランド価値アップ

- 『ズームイン!!SUPER』『NEWS ZERO』など番組発の「エコウイーク」や「24時間テレビ」の縦軸企画
- プライムや土日午後帯でのスピンオフ番組の編成
『ズーム投稿ビデオスペシャル』『ズーム絶叫マシンスペシャル』『ZERO野球』
『ZERO×20世紀少年』『スッキリ×ミュージカル・アニー』など
- 報道局全ての番組で1年がかりで取り組んだ、行動・提言型の報道取材企画『ACTION』
→出版も決定

下期の編成戦略と方針(2)

広告主のニーズを取り込む編成

- 週末、プライム帯の前後で全国ネットの一社提供枠を編成
(土)18時30分～ マクドナルド提供 『弟子っちょピカマル』
(金)23時30分～ JT提供 『アナザースカイ』
- 平日深夜帯に首都圏一社提供枠を多数編成し、高い評価を得ている
- 1～3月期に、一社提供の大型特別番組を複数計画中
- レギュラー番組・土日単発番組におけるパブリシティによるスポット支援効果
『ラジカル』『嫁喜ばせ株式会社』
- コアターゲット獲得戦略の推進→平日8時～12時のF1含有率はフジテレビを抜いて1位

マルチユース、新たな試み

- 『誰も知らない泣ける歌』の携帯着うた配信
- サザン×日テレ×アミューズ企画、連作ショートドラマ『the波乗りレストラン』
→地上波、携帯配信、ネット配信、BS・CS放送、DVD、スピンオフドラマなど
放送と通信の新たな連携によるコンテンツ制作・配信
- 土日タテ『全国うまいものバスツアー』や
プライム単発番組『行列のできる芸能人通販王決定戦』などで、視聴率・営業収入・
通販収入を確保できる新しい方策を実施

視聴率状況

2008年 年間平均視聴率 (2007/12/31-2008/11/9)

	NTV	TBS	CX	EX	TX	HUT
全日	8.3	7.4	8.5	7.7	3.6	43.4
昨年同期	8.3	7.7	8.7	7.7	3.8	43.2
プライム	12.3	11.2	13.3	11.8	7.6	64.6
昨年同期	12.1	12.1	13.7	12.1	7.9	64.6
ゴールデン	12.3	11.3	13.4	11.1	8.0	66.1
昨年同期	12.0	12.1	13.7	11.2	8.4	65.6
ノンプライム	7.1	6.3	7.2	6.6	2.5	37.4
昨年同期	7.2	6.5	7.3	6.5	2.6	37.0

出所:ビデオリサーチ

主な映画ラインアップ

	タイトル	公開	配給	摘要
	それいけ！ アンパンマン	7月12日	東京テアトル メディアボックス	映画 & テレビ20年記念作品、 開局55年記念作品。「妖精リンリンのひみつ」
	崖の上のポニョ	7月19日	東宝	スタジオジブリ 宮崎駿監督の最新作品 動員数1260万人を超える今年一番の大ヒット作
共同幹 事	スカイ・クロラ	8月2日	ワーナー・ ブラザース	開局55年記念作品。 押井守監督の最新アニメ大作
幹事 作品	20世紀少年	8月30日	東宝	開局55年記念作品。 浦沢直樹原作の人気コミックの実写映画 3部作の第1章。動員数300万人を突破
幹事 作品	252－生存者あり	12月6日	ワーナー ブラザース	開局55年記念作品。監督は 「舞妓Haaaaan!!!」の水田伸生（NTV社員）
幹事作 品	K-20 怪人二十面相・伝	12月20日	東宝	開局55年記念作品。 「三丁目の夕日」のスタッフによるアクション映画
幹事 作品	20世紀少年 (第2章)	2009年 1月31日	東宝	開局55年記念作品。 3部作にわたる壮大な物語の第2章
共同幹 事	ヤッターマン	3月予定	日活 松竹	伝説のアニメの実写版映画

55